

令和3年度宇部市公共交通協議会
(移動等円滑化促進方針関係) 会議録

日 時：令和4年2月10日(木) 15:00~16:30

場 所：宇部市勤労青少年会館 2階 集会堂

出席者：20名(欠席者5名)

榑原会長、鈴木委員、大谷委員、中村委員(代理出席)、蔦委員、保村委員、栗栖委員、吉原委員、三戸委員、生田委員、岡田委員、山丈委員、西村委員、松田委員、齋藤委員、佐藤委員、阿部委員、村上委員、佐々木委員(代理出席)、小森委員(代理出席)

事務局：3名

障害福祉課：井上課長、塚本副課長、深津

内 容：

1 議事

- (1) 市内のバリアフリー化の状況について
- (2) 移動等円滑化促進地区内の各施設におけるバリアフリー設備の情報提供について
- (3) 公共施設のバリアフリーの状況調査について

2 その他

1 議事

(1) 市内のバリアフリー化の状況について

(資料1_宇部市のバリアフリー化の状況)

■質疑応答等

●市営バスのノンステップバスの比率は何パーセントか。

(委員) バスの合計台数が誤っており、63台のため、ノンステップバスの比率は58パーセント。

●バリアフリー教室はどんなことをするのか。

(委員) 年1回、交通事業者などを対象に考えているが、詳細は未定。

(2) 移動等円滑化促進地区内の各施設におけるバリアフリー設備の情報提供について

(資料2_施設のバリアフリーの状況)

■質疑応答等

●エレベーターの項目について、平屋の建物と2階建てでエレベーターがない建物では、意味合いが違う。違いが分かるように改善する余地があるのではないか。

(事務局) 来年度以降の改善事項とする。

●BOSSTY BLDが入っていないが、BOSSTY BLDは中心市街地の中で重要な位置づけではないか。バリアフリー化マスタープランは行政だけでなく、金融機関、医

療機関、商業施設などの民間の施設も含めて、官民全体でバリアフリー化を目指すものであるから、民間施設に協力いただき情報集約していくということは、重要なことではないか。

(事務局) 調査に協力いただけるよう依頼していく。

(3) 公共施設のバリアフリーの状況調査について

(資料 3_公共施設のバリアフリーの状況調査票 (公共施設用))

(資料 4_公共施設のバリアフリーの状況調査票 (公園・運動施設用))

■質疑応答等

●宇部市のウェブサイトでバリアフリーの情報を確認すると、バリアフリーマップが観光関係しかなく、必要な情報にたどり着けない。市民向けの情報をどうやって提供していくかが大事ではないか。また、中心市街地のバリアフリーマップには、授乳室やおむつ替えの設備が掲載されておらず、役に立たない。ベビーカーでもお出かけしやすい環境の情報提供も掲載してほしい。

(事務局) 今回、調査した内容は施設を利用する人が、施設のウェブサイトからバリアフリーの詳細な情報を確認しやすいようにわかりやすい掲載の仕方を考えていく。

●参加している団体の方は、バリアフリー状況などの情報をどうやって周知しているのか。

(委員) この会議の情報を各団体で周知している。

●公共施設や大きな商業施設はバリアフリー化されており、ある程度情報が集約されているが、中小事業者の小規模なお店についてバリアフリー化の支援はどうか。また、バリアフリー化の情報をウェブサイトに掲載するのも大事だが、ウェブサイト以外のバリアフリーの情報提供や周知の状況はどうか。

(事務局) 飲食店や小売店などについては、出入口にスロープや手すりの設置、自動ドアへの改修、多目的トイレの設置やトイレ洋式化に対してバリアフリー化改修助成金の制度を設けている。また、障害者差別解消法が改正され、行政だけでなく民間事業者も合理的配慮が義務化される。ハード面で対応できない場合は、ソフト面で対応していただくことになる。周知については、この協議会にはさまざまな団体の代表として参加していただいております。それぞれの団体で情報を共有していただきたい。

●公共施設マネジメントに基づいて公共施設のバリアフリー化を進めていくのか。

(委員) 公共施設マネジメントを進める中でバリアフリー化をしており、市役所は建て替え中のため現在の建物については何も改修をしていないが、市営住宅については計画的に見初の市営住宅の建て替えを行い、また、年間 6 件の空き部屋のシルバーリフォームを行っている。

●より長く使う施設に関して重点的に改善していくことが大事で、今後どう改善していくのかという視点がある。

2 その他

■質疑応答等

●情報集約していくということは大事だが、今後、どのように改善につなげ、また、集めた情報を市民の皆さんにどう使ってもらおうのか。次のステップに進むため、枠組みや情報

をどう活用していくのか。来年度に向けた課題として、事務局に考えていただきたい。

●中心市街地のウォーカブルなまちづくりについては、道路やまちづくりの話になるのではないかと思うが共通する部分もあるのではないか。バリアフリーで誰もが歩いて楽しく過ごせるようなまちを作っていくということをテーマとして考えていただきたい。

●バリアフリーを考える時に身体障害者のことを考えてハード面に視点があてられるが、知的障害者や自閉症の場合、飲食店などで理解が得にくく、個室などを優先的に使わせてもらえようにしたら飲食店などにも行きやすい。

●宇部駅前について、駐輪場など整備されているが、ロータリーがすごく危険だと感じる。

(委員) 宇部駅前の整備については、具体的な計画はないが、バリアフリー化マスタープランの次の段階である基本構想を考える中で検討していきたい。

●市営バスについてはノンステップバスに車両の更新を行っているが、バリアフリーに対応していないバス停がまだまだたくさんある。費用がかなりかかることだが、道路管理者の方は予算化をしてほしい。